

## 2022 年度日本認知症ケア学会・認知症ケア賞 功労賞



武田 雅俊 (たけだ まさとし)  
大阪河崎リハビリテーション大学

### 【授賞理由】

武田氏は、常に最新の科学的知見に基づいた認知症の病態解明や診断法および治療法の開発に永年にわたり取り組まれてきました。その活動はわが国の認知症研究を世界標準にまで押し上げるとともに、現場における認知症ケアの技術の育成および改革にも多大なる影響を与えました。

これらの活動は、認知症ケア賞（功労賞）受賞が相応しいといえます。

### 【略歴】

1983年4月～1984年9月まで	国立療養所松籟荘医師
1984年10月～1985年9月まで	大阪大学医学部助手(精神医学講座)
1985年10月～1987年9月まで	フロリダ大学/バイラー医科大学研究員
1989年4月～1996年3月まで	大阪大学医学部講師(精神医学講座)
1996年4月～2015年3月まで	大阪大学教授(精神医学講座)
2015年4月～2018年3月まで	藍野大学学長
2018年4月～2020年3月まで	大阪河崎リハビリテーション大学 認知予備力研究センター長
2020年4月～現在まで	大阪河崎リハビリテーション大学学長

### 【褒賞】

- ・日本精神神経学会功労賞（2002年8月）
- ・大阪大学総長顕彰研究部門（2013年8月）
- ・国際老年精神医学会功労賞（2013年10月）

### 【活動内容等】

活動目的：

大阪大学精神医学教室教授として約20年間認知症の診断・治療・ケアに関わる研究に従事し、日本老年精神医学会理事（1997-2015）として「老年精神医学雑誌」の編集委員を勤め、2001年に英文機関誌 *Psychogeriatrics* を創刊し2015年まで編集委員長を勤め、2021年からも再び *Psychogeriatrics* 編集委員長として認知症ケアの学術水準の向上に努めてきた。この間、国際老年精神医学会（IPA）の理事及び理事長として *BPSD* 概念の普及啓発に尽力した。また日本精神神経学会においても「精神神経学雑誌」*Psychiatry & Clinical Neuroscience* の編集委員長、理事長（2013-2017）を勤

めた後も、認知症委員会委員長として多くの精神科医が認知症診療と認知症ケアに参画するための活動を続けてきた。

#### 活動の特徴：

認知症は、極めて社会的な疾患であり、その対応には生物学的・心理学的・社会学的視点がいずれも不可欠であるとの考えに則りながら、認知症の病態解明、診断法および治療法の開発、ケア技術の改善に取り組んできたが、そのために最新の科学的知見と技術を取り入れながら研究に従事してきた。また、わが国の認知症ケア領域の学問水準を向上させることを目的として、国際的共同体制を構築するために、第 5 回国際アルツハイマー病学会（平成 8 年リーガロイヤルホテル）、アルツハイマー病及び関連疾患国際シンポジウム（平成 14 年ホテルオオサカサンパレス）、第 13 回国際老年精神医学会（平成 19 年大阪国際会議場）、第 11 回世界生物学的精神医学会（平成 25 年京都国際会館）を主催してわが国の認知症ケアの向上に尽力した。

#### 活動の効果・影響：

英文誌 **Psychogeriatrics** は老年精神医学領域のハブジャーナルとして順調に発展しており、投稿論文の半数以上が外国からの投稿となり IF 値は 2.440 にまで上昇した。**Psychogeriatrics** は認知症ケア領域の論文が多数掲載されている。一人でも多くの精神科医が認知症診療に参画することを目指して設立した日本精神神経学会の認知症診療医認定制度は順調に発展しており、既に約三千人の精神科専門医が「認知症診療医」として活動しており、認知症ケアの推進に貢献している。わが国の認知症施策は、「認知症の予防と共生」を目標として推進されているが、認知症ケアのより一層の充実のためには、このような学術活動や人材養成の活動は一定の効果を上げてきていると言えよう。

#### 今後の活動予定：

現在、リハビリテーション専門職を養成する大学に所属しているが、認知症に強いリハビリテーション専門職を育成することを目的として、本年 4 月から大学院修士課程を開設した。認知症の人と家族に有用な認知症ケアは、医師だけでないうるものではなく、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士をも含めた多職種専門職の共同作業が重要と考えており、引き続きリハビリテーション専門職の力を集結して、認知症ケアの向上に努めていきたい。

#### その他：

大会長として主催した主な国内学会には、第 97 回日本精神神経学会（平成 13 年 5 月大阪国際会議場）、第 95 回近畿精神神経学会（平成 15 年大阪国際会議場）、第 107 回近畿精神神経学会（平成 22 年大阪大学銀杏会館）、第 27 回日本生物学的精神医学会（平成 17 年 7 月大阪国際交流センター）、第 16 回日本老年精神医学会（平成 13 年 6 月大阪国際会議場）、第 51 回日本神経化学会（平成 20 年 9 月富山国際会議場）、第 21 回日本痴呆学会（平成 14 年 10 月大阪大学コンベンションセンター）、第 3 回日本精神

神経医学会（平成 10 年千里ライフサイエンスセンター）、第 4 回日本統合失調症学会（平成 21 年 2 月大阪大学コンベンションセンター）、第 16 回日本未病システム学会（平成 21 年 10 月千里ライフサイエンスセンター）などがある。

また、以下の学術雑誌の編集委員等を勤めた。精神神経学雑誌, Psychiatry & Clinical Neurosciences, Psychogeriatrics, Cognition & Dementia, Schizophrenia Frontier, Dementia Japan の編集委員長。日本老年医学会雑誌, 日本生物学的精神医学会雑誌, 精神医学, 臨床精神医学雑誌, 脳 21, 分子精神医学, Geriatric Medicine などの編集委員・編集アドバイザー。

European Archives of Psychiatry and Neurosciences, Dementia and Geriatric Cognitive Disorders, Asia-Pacific Psychiatry, Psychiatric Investigation, Geriatrics & Gerontology International, Clinical Psychopharmacology and Neuroscience, Taiwanese Journal of Psychiatry の編集委員。